

児童の豊かな心とからだを育む健康教育をめざして

養護研究会では、児童の心身の調和的な発達と健康の保持増進をめざしています。具体的には、保護者や教職員との連携を行う中で、児童が健康に関する基礎的・基本的な知識を獲得し、自らの健康課題を見出し、解決するための思考力と判断力を高め、働かせることにより、将来、適切な意思決定や行動選択を行い、主体的に健康生活を実践する力が培えるよう指導を実践しています。その中で大切にしていることは、保健領域をはじめ各教科や特別活動・総合的な学習等から健康に関する指導を計画的に行い、また個別の保健指導や健康相談の実施により、児童の日常生活において適切な健康に関する活動の実践を促し、生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための基礎が培われることを目的として研究を進めています。近年の健康課題である新型コロナウイルス感染症拡大防止についても工夫を続ける他、昨年度からGIGAスクール構想における端末の活用方法も継続して研究をすすめています。また、今年度は保健学習の資質向上をめざして特別活動研究会と共同で授業研究会を開催していきます。この他にも救急処置や対応などの学びを深め、研究主題の実現をめざしていきます。

◆各地区の研究主題◆

今年度研究報告地区

宮前区

「自分の健康を守る力を育てる保健教育」

宮前区養護研究会で子どもたちの様子を話し合ったところ「けが」「目・視力」「睡眠」の大きく3つが健康課題として挙げられた。課題解決の方法として、前回（平成27年度）の研究発表で行った計測前の保健教育を生かしたいという意見が多かった。そこで、より教育効果を高めるため低・中・高の発達段階に応じた計測前の保健教育を行うこととした。また子どもたちが課題に興味関心をもつことで、自らの健康を守ろうとする力を育てることができると考え、興味関心をもたせる工夫に重点を置いて取り組むこととした。実践後は、成果と課題を同じ視点で捉えるため、子どもたちの反応を見とる「ふりかえりカード」と養護教諭が振り返りをする「まとめの形式」を統一書式で作成し、記録している。令和2年度より教育のオンライン化が進んだため、タブレット端末を活用して教育効果を高めることも視野に入れ、保健教育の実践と改善を行っている。

川崎区：一人ひとりに寄り添い、健やかな成長を支える保健室経営を目指して

幸区：心とからだの健康づくり

中原区：子どもの心と体を育む養護教諭の取組

高津区：子どもたちの豊かな心と体を育む保健室経営

多摩区：子どもたちの安全・安心のため保健室経営

麻生区：自ら、健康に関心を持てる子どもの育成

研究主題の具現化の構想

